

9/5(土)まじで！倫理号より、台詞10号が、お2率封、月曜日に、同速80mとか
出する際の対策にあきつた...
食物に感謝出来る人は全2に感謝出来る...良い例まで、
幸せ運ぶアホ鳥

2020.9.5~9.11

今週の 倫理

9月のテーマ | 食は命の恵み

1193号

九月度「旬」肌を赤くす 秋のほいほい雲を「見る」

毎月第一週に配信する「今週の倫理」では、倫理研究所第二代理事長・丸山竹秋（一九二一—一九九九）のことばを掲載いたします。

女の人に、たずねてみた。

「後始末で、いちばん嫌なことは何ですか」

「食事の後始末かしら。それも夕食後の...」

もちろん、そう答える人は奥さんが多い。

自分も家族と一緒に夕食をすませ、お腹も

いっぱいになり、やれやれと休みたい気持ちになる。だが、すぐに後片付けをしな

ければならない。それが、つらいというのである。

男はどうか。女たちに作らせ、後片付け

をさせ、自分は寝そべろうと、何をしよう

と勝手であると考えている。だが、男たち

も改めてこれは考え直してみなければなる

まい。最低限、

「ごちそうさまでした」と頭を下げるだけ

でもよいのである。もっとも頭を下げる気

もなく、そうしたことも知らない男たちも、

かなりいるらしいのだが...

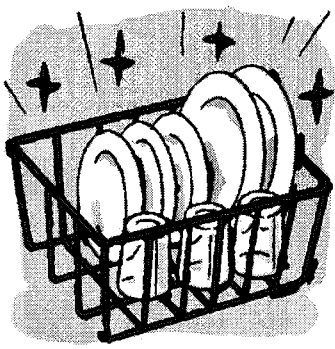
物に対する感謝は、まず食物から始まる

と言つてよい。たべものこそ、もつともは

つきりと、わが命のものである。食物をあ

りがたいと思えない人は、およそ他の物質

(もの)に対して感謝することは出来ない。食



食後の後始末にも 気を配る

丸山竹秋

感謝の心の眼が開くのである。

もちろん、感謝への入り方は食物に対し

てのみとは限らず、他にいろいろとあるが、

食物に対して入っていくことが、いちばん

直截明瞭なのである。ところで、その食べ

た後の片付けがめんどうだ...というの

は、いったい、どうしてであろうか。

食事の後片付けのことばかり、なぜくど

くどというのかと不審がられる人もあるか

もしれない。だが物質への感謝と後始末は

密接につながっており、その中でいちばん

難しいといわれている食後の始末をちゃん

と出来るとき、そこに徹底した実践の尊

さが現われる。その始末を嫌がらずに出来る

人は、他の始末も、比較的よく出来る。

一時は万事に通ずるといふが、そうした

ものが、ここにもある。軽くあしらうべき

問題ではあるまい。

水、空気、石、土、といった自然的な

のから、加工された様々なものによつて、

我々の命は支えられ、守られているのであ

る。それは誰でも知ってはいる。物質を軽

蔑したり、無視したりすることは自分自身

の命を危うくするのである。だが、それで

は物質にそれだけ感謝をしているのかとい

うと、必ずしもそうではない。

感謝はいろいろな形で現れる。使うとき

大切にするとか、愛情をかけるとか、様々

であるが、そのものの後始末をよくしてや

るといふのも、感謝のおのずからなる表現

『繁栄の法則』より